

株 主 の 皆 様 へ



第102期 報 告 書

2016年1月1日 ▶ 2016年12月31日

JUKI 株式会社

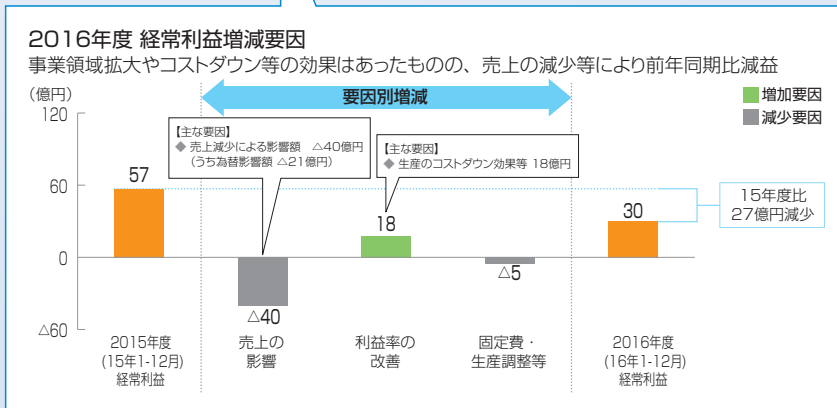
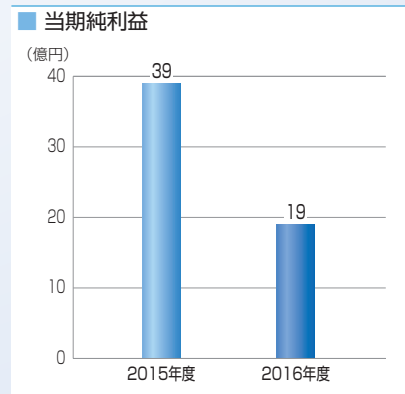
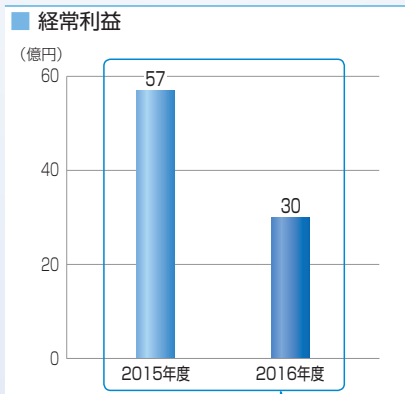
証券コード: 6440

業績のポイント

売上高は、事業領域拡大のためのソリューション営業を強化し、自動化・省力化の提案活動に取り組みましたが、中国経済の減速など世界経済の不透明感が高まり景気の停滞が続く中で、円高で推移したことなどから、前年同期比13.4%の減収。利益面は、生産のコストダウン効果はあったものの、売上の減少などの影響や円高による外貨建債権の評価替等による差損の発生により、経常利益は47.2%の減益。

売上高 977億円 (前年同期比 151億円の減少)
 経常利益 30億円 (前年同期比 27億円の減少)

当期純利益 19億円 (前年同期比 20億円の減少)
 年間配当金 20円/株



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第102期 報告書（2016年1月1日から2016年12月31日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当期においては、しっかりとした事業基盤を構築し事業領域を拡大するために、ソリューション営業を強化し、顧客に対する自動化・省力化の提案活動の幅を広げていく活動に取り組んでまいりました。しかしながら、中国経済の減速など世界経済の不透明感が高まり景気の停滞が続く中で、前年度と比べて円高で推移したことなどから、売上高は977億2千4百万円となりました。

利益面につきましては、生産面でのコストダウンの効果はあったものの、売上の減少などが影響したことから営業利益は46億5千1百万円となりました。また、前年度末と比べて円高ドル安に推移していたことで外貨建債権の評価替等による差損が営業外費用として発生したことなどから経常利益は30億2千2百万円となり、当期純利益は18億8千3百万円となりました。

配当につきましては当期の業績や将来の事業展開に備えた内部留保を総合的に勘案し、安定的な配当による株主様への利益還元の充実に努めることを基本方針としております。当期につきましては、この基本方針並びに財政状態に鑑み、期末配当は1株当たり20円とさせていただきます。

当社は、長期ビジョンとしての「21世紀を生き抜くグローバルでイノベティブ（革新的）なものづくり企業」のもと、今般、当社グループが将来に亘って継続的に成長していくための中期計画「Value up 2022」を策定いたしました。これは、当社が6年後に目指す姿として2022年ビジョンを「お客様とJUKIが製品・サービスを通じて企業価値の向上ができるものづくり企業」とし、この姿を実現するための2017年度から2019年度の3年間の中期計画ビジョンを「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」といたしました。

このビジョンを実現するために、グローバルでイノベティブ（革新的）な人材の育成・活用やスマートな事業基盤の構築並びにソリューション営業での価値創造力の強化等に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役

清原 晃

2016年度 業績概要と2017年度 業績予想

1. 2016年度 業績概要

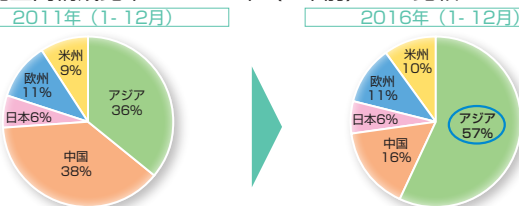
縫製機器事業

市場別では、バングラデシュ・インドネシアなどの新興国や欧米では売上が拡大したものの中国などで売上が低迷したこと、製品別では、自動車シートなどのノンアパレル向け製品に成果が見られたものの、前年度と比べて円高で推移したことなどから、縫製機器事業全体の売上高は758億6千6百万円(対前年同期比11.9%減)となりました。

● 売上高(工業用ミシン製品):前年同期比較(単位:億円)

| | 2015年 (1-12月) | 2016年 (1-12月) | 増減額 |
|-----|------------------|------------------|------|
| アジア | 407 | 366 | △ 41 |
| 中国 | 143 | 105 | △ 38 |
| 日本 | 34 | 38 | 4 |
| 欧州 | 68 | 71 | 3 |
| 米州 | 76 | 63 | △ 13 |
| 合計 | 728 | 643 | △ 85 |

● 売上高構成比率:2011年(5年前)との比較



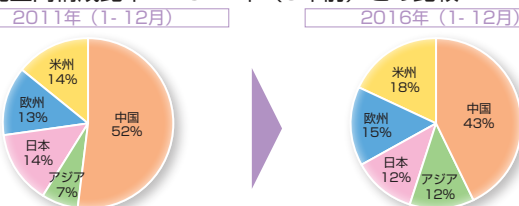
産業装置事業

市場別では、最大の市場である中国や米州での売上が減少したこと、製品別では、ラインソリューション戦略で展開する新型マウンタなどの売上は伸びたものの既存マウンタの落ち込み分をカバーできず、産業装置事業全体の売上高は152億3千7百万円(対前年同期比25.7%減)となりました。

● 売上高:前年同期比較 (単位:億円)

| | 2015年 (1-12月) | 2016年 (1-12月) | 増減額 |
|-----|------------------|------------------|------|
| 中国 | 88 | 66 | △ 22 |
| アジア | 20 | 18 | △ 2 |
| 日本 | 28 | 19 | △ 9 |
| 欧州 | 28 | 23 | △ 5 |
| 米州 | 41 | 27 | △ 14 |
| 合計 | 205 | 153 | △ 52 |

● 売上高構成比率:2011年(5年前)との比較



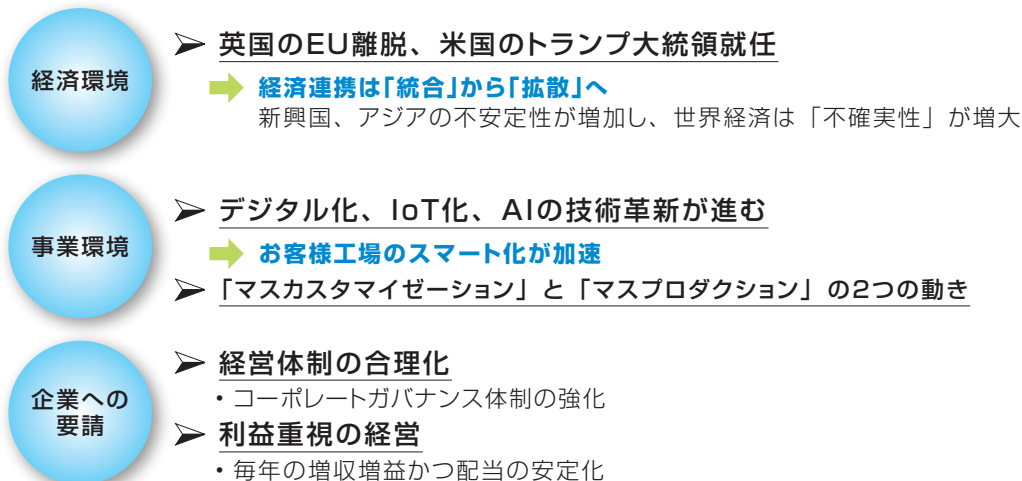
2. 2017年度 業績予想

(億円)

【新セグメント基準】

| | 2016年度 実績 通期(1-12月) | 2017年度 業績予想 通期(1-12月) |
|-------------|------------------------|--------------------------|
| 売上高 | 977 | 1,010 |
| (縫製機器&システム) | (682) | (700) |
| (産業機器&システム) | (295) | (310) |
| 営業利益 | 47 | 48 |
| 経常利益 | 30 | 37 |
| 当期純利益 | 19 | 22 |
| 配当 | 通期:20円/株 | 通期:20円/株 |
| 為替レート | 1ドル=110円 | 1ドル=105円 |

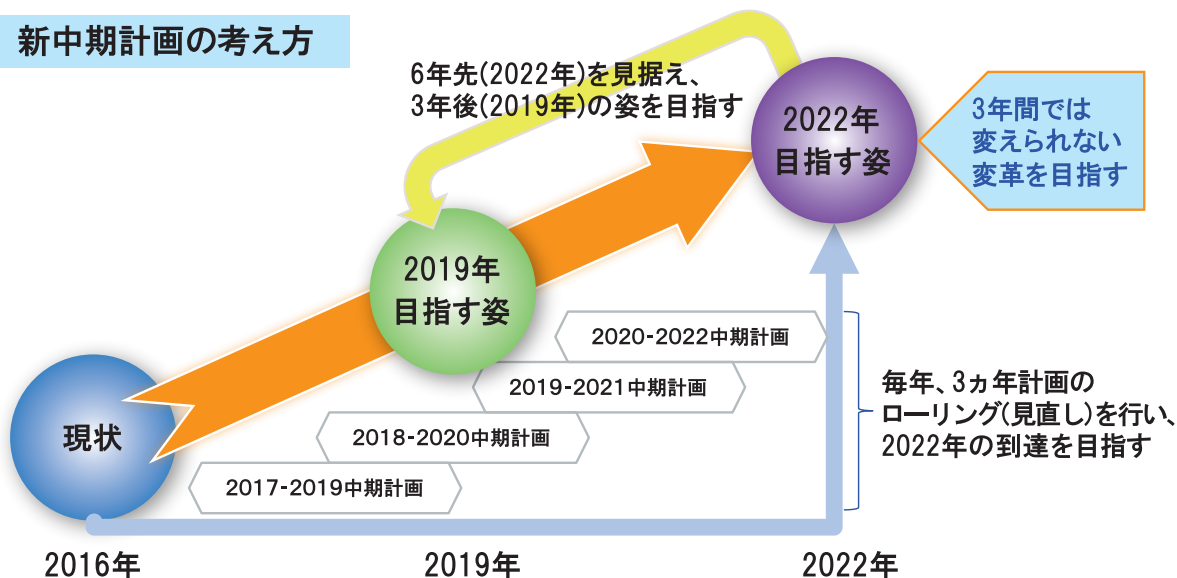
1. 環境認識



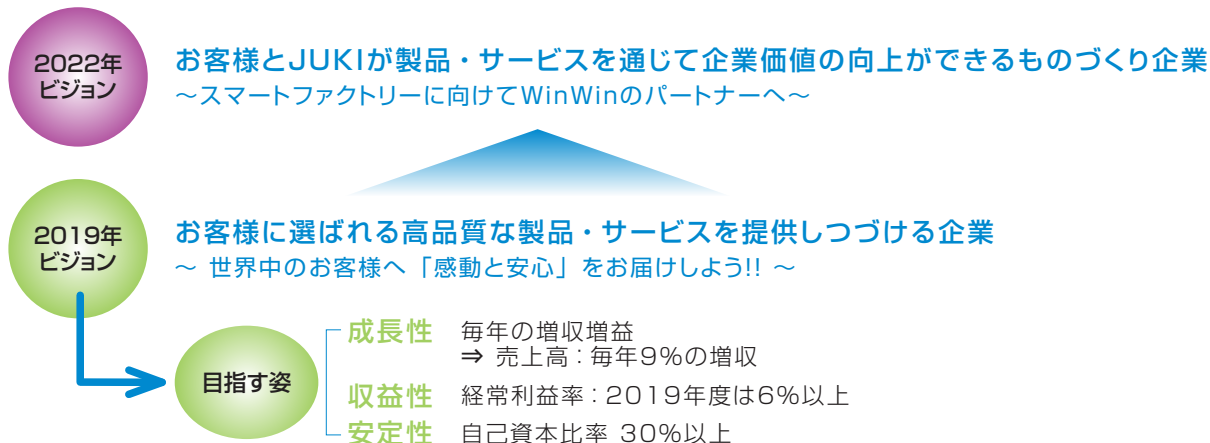
2. 中期計画で目指す姿

長期ビジョン 21世紀を生き抜くグローバルでイノベティブ（革新的）なものづくり企業

新中期計画の考え方



3. 中期計画ビジョン



4. 5つの基本方針

① ビジョンを実現するグローバルでイノベティブ（革新的）な人材の育成と活用

ダイバーシティの推進やマネジメント層から若手まで各階層における人材教育の強化を進めてまいります。

② スマートな事業基盤の構築

サプライチェーンマネジメントの改革を進めるとともに、製品原価の低減や間接業務の効率化を進めてまいります。

③ ソリューション営業での価値創造力の強化

「具体的なソリューションの提供」を推進するため、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスを開発し提供してまいります。

④ 財務体質の強化による自己資本の積み上げ

在庫の削減や有利子負債の削減を行うとともに、収益力を強化し自己資本の積み上げに取り組みます。

⑤ 将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出と強化

新規事業の創出に向けた取り組みを強化してまいります。

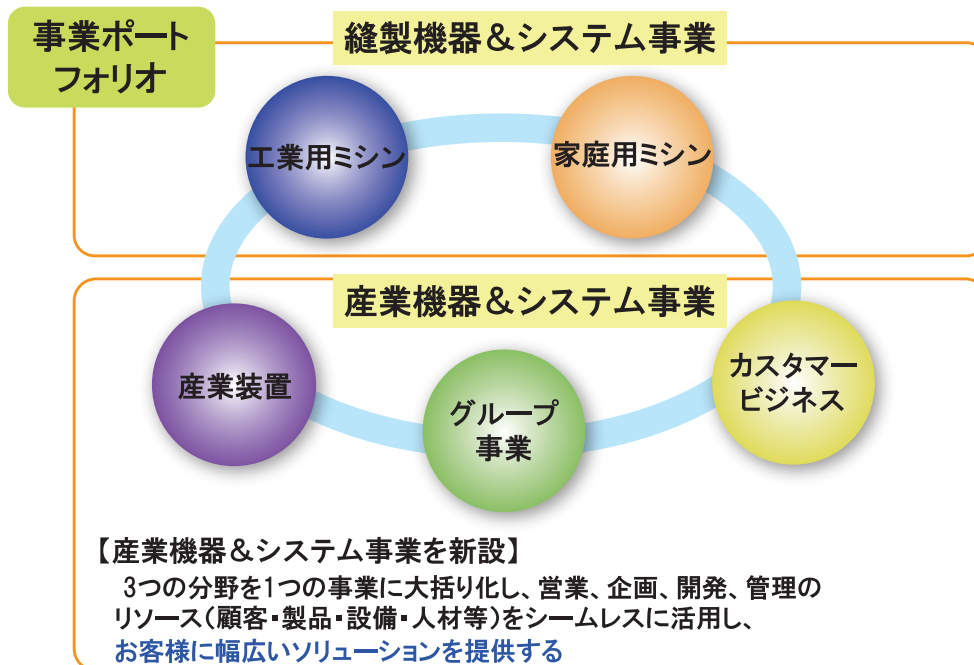
5. 経営の枠組みの変更

激しい環境変化に対応し、
持続的に高い収益を上げることができる事業構造を構築する

経営の枠組みの変更

- 組織の“大括り化”により経営資源(顧客・製品・設備・人材)を有効活用し事業成長を図る
 - ➡ **2つの事業** { 縫製機器&システム事業
産業機器&システム事業(新設)
- お客様の省力化・省人化に役立つスマートソリューション展開を強化
 - ➡ **製品「装置(単品)」から「装置 + システム」へ**
- 経営体制のスリム化
 - ➡ **管理間接部門のスリム化、経費構造のスリム化**

事業ポートフォリオ



6. 縫製機器&システム事業（工業用ミシン）

環境認識

- ・ファストファッション市場拡大（大量生産）
- ・ニット市場拡大
- ・自動車、スポーツ関連市場拡大

ビジョン

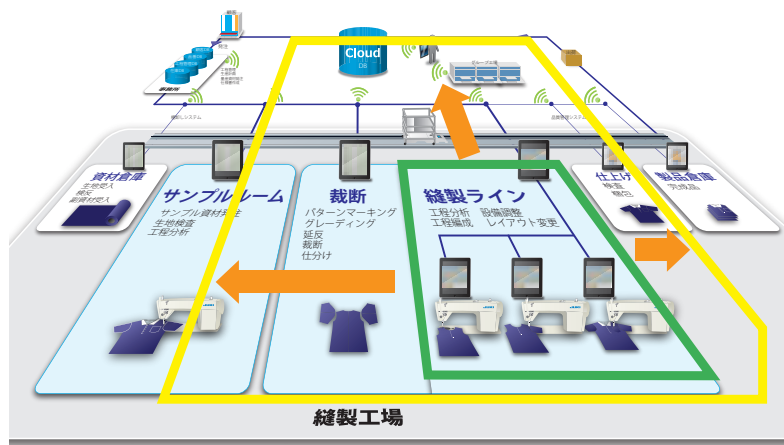
JUKI Smart Solutionsのもと、革新的技術とシステム提案によりお客様のイノベーションに貢献

重点施策

- ・お客様のスマートファクトリーの実現に向けたスマートソリューション提案による営業力の強化
- ・自動機、自動化・ロボット化製品およびシステム商品の品揃え拡充
- ・成長市場、成長企業の動向を捉えた営業力の強化

システム領域を含む事業領域の拡大

スマートソリューションによるラインソリューション提案



本縫いデジタルミシン
DDL-9000C



ニット用ミシン
MF-7900



ボロシャツ前立て装置付き自動機
AMS-221ENSS3020



靴紐ループ付け自動機
AB-1360



ノンアパレル用ミシン
LU-2800

7. 縫製機器&システム事業（家庭用ミシン）

環境認識

- ・ヘビーユーザー、キルトユーザー層の拡大
- ・日本の手芸ブームは堅調

ビジョン

趣味力の高いお客様（Home Sewer）と
新たな楽しみの創造

重点施策

- ・ホビー・クラフトマーケットでの販売拡大
- ・趣味層のユーザーが多い日本、米国、欧州での販売拡大



家庭用ミシン



ロックミシン

Home Sewerの創造性をサポートする
JUKIの家庭用ミシン

QVPファミリー



職業用ミシン

キルト用ミシン



8. 産業機器&システム事業（産業装置）

環境認識

- ・自動化・省人化ニーズにより事業規模が拡大
- ・自動運転技術の進展により車載市場が拡大

ビジョン

得意分野への集中と自動化・省人化ソリューションで、お客様にとってなくてはならない事業パートナーへ

重点施策

- ・新製品投入による販売拡大
- ・ラインソリューション営業による販売拡大

スマートファクトリー提案への取り組み

■ JUKIのスマートソリューションが関連する領域



高速マウンタ
RX-7



汎用マウンタ
RS-1



基板外観検査機
RV-2-3D



実装後工程用マウンタ
JM-20



自動倉庫
ISM2000

9. 産業機器&システム事業（グループ事業）

環境認識

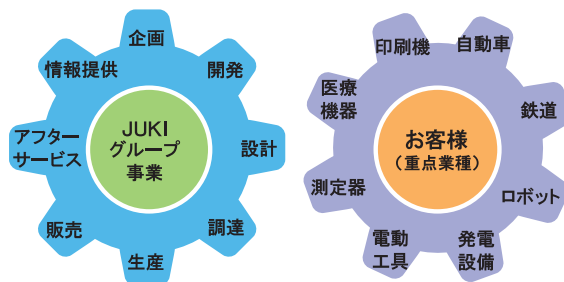
- ・生産の国内回帰の動きなど、国内でのものづくりが増加
- ・大手メーカーからの受注案件が増加

ビジョン

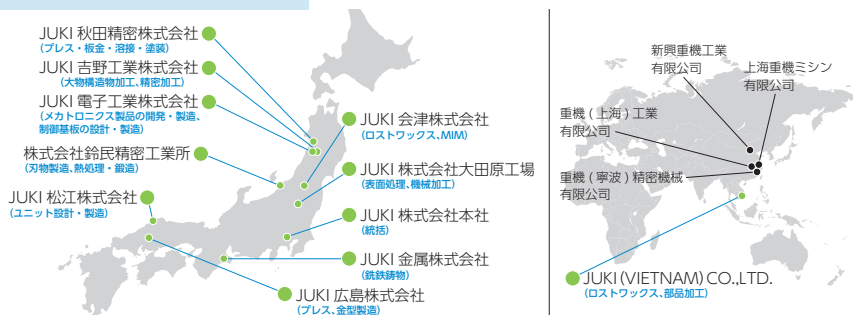
新規顧客開拓と重要顧客の間口拡大でJUKI第三の柱へ

重点施策

- ・重要顧客の間口拡大による売上拡大
- ・独自製造技術（精密鍛造・加工・組立等）による受注拡大と独自製品の販売拡大



生産グループ会社
（国内9社、海外1社）に、
システム機器と
スリープバスターを加え、
JUKIのものづくりカと
ネットワークを活用



10. 産業機器&システム事業（カスタマービジネス）

環境認識

- ・グローバル企業の工場の世界展開（工場の拡散化）に対応
- ・お客様が工場設備の稼働を上げることによるパーツニーズへの対応

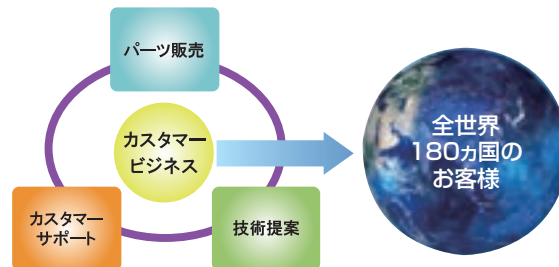
ビジョン

今日頼んだものが、明日必ず手に入るJUKI部品

重点施策

- ・ネットセールス（パーツWebサイトの活用）によるパーツ・装置の販売拡大
- ・JUKI製品関連パーツの納品体制強化
- ・ワールドワイドの販売網を活用

縫製機器、産業装置のお客様に、
パーツ販売、カスタマーサポート、
技術提案をワンストップでご提供し、
お客様へのサービスを大きく拡大



連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

(百万円)

| 科目 | 前期 2015年12月31日現在 | 当期 2016年12月31日現在 | 増減 |
|--------------|---------------------|---------------------|---------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 86,958 | 80,066 | △ 6,892 |
| 固定資産 | 32,323 | 31,298 | △ 1,025 |
| 資産合計 | 119,281 | 111,365 | △ 7,916 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 64,436 | 61,254 | △ 3,182 |
| 固定負債 | 26,367 | 22,528 | △ 3,839 |
| 負債合計 | 90,803 | 83,782 | △ 7,021 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 27,873 | 28,412 | 539 |
| その他の包括利益累計額 | △ 194 | △ 1,406 | △ 1,212 |
| 非支配株主持分 | 799 | 576 | △ 223 |
| 純資産合計 | 28,477 | 27,582 | △ 895 |
| 負債純資産合計 | 119,281 | 111,365 | △ 7,916 |

連結損益計算書

(百万円)

| 科目 | 前期 2015年 1月 1日から 2015年12月31日まで | 当期 2016年 1月 1日から 2016年12月31日まで | 増減 |
|--------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------|
| 売上高 | 112,865 | 97,724 | △ 15,141 |
| 売上原価 | 78,293 | 68,134 | △ 10,159 |
| 売上総利益 | 34,571 | 29,590 | △ 4,981 |
| 販売費及び一般管理費 | 27,461 | 24,938 | △ 2,523 |
| 営業利益 | 7,110 | 4,651 | △ 2,459 |
| 営業外収益 | 914 | 854 | △ 60 |
| 営業外費用 | 2,296 | 2,483 | 187 |
| 経常利益 | 5,728 | 3,022 | △ 2,706 |
| 特別利益 | 51 | 441 | 390 |
| 特別損失 | 137 | 373 | 236 |
| 税金等調整前当期純利益 | 5,642 | 3,090 | △ 2,552 |
| 法人税等 | 1,989 | 1,453 | △ 536 |
| 当期純利益 | 3,652 | 1,637 | △ 2,015 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | △ 200 | △ 246 | △ 46 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,853 | 1,883 | △ 1,970 |

会社情報 (2016年12月31日現在)

■ 会社概要

| | |
|--------|---------------------|
| 商号 | JUKI株式会社 |
| 創立 | 1938年12月15日 |
| 資本金 | 180億4,471万円 |
| 本社 | 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1 |
| 決算期 | 12月 |
| 営業品目 | 工業用マシン／産業装置／家庭用マシン他 |
| 従業員数 | 6,021名（連結） |
| 連結子会社数 | 30社 |

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数…………… 80,000,000株
- 発行済株式総数…………… 29,874,179株
- 株主数…………… 13,395名

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番地1
TEL: 042-357-2211

<http://www.juki.co.jp>

■ 大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,373 | 4.68 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,080 | 3.68 |
| 株式会社みずほ銀行 | 938 | 3.20 |
| 日本生命保険相互会社 | 732 | 2.49 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口) | 645 | 2.20 |

■ 所有者別株式分布状況

